

宮古励ますカレンダー

東京の
土建労組



「一歩ずつ前へ」。宮古地区の住民に贈ったカレンダーを手にする松館寛さん(左)となかだえりさん

【東京支社】東京土
建一般労組足立支部
(東京都足立区、増子
今朝男執行委員長、加
盟約8500人は「一
歩ずつ前へ」と宮古地
区へのエールを込めた
2013年のカレンダー
を作った。復興支援
を続けてきた宮古建設
組合(鈴木勇平組合長)
を通じて同地区の建設
業従事者や仮設住宅で

暮らす住民に届け、日
々の励みにしてもら
う。

カレンダーは月めく
りで、住民が予定など
を書き込みやすい様
式。一関市出身のイラ
ストレーターなかだえ
りさん(38)＝足立区＝
に依頼し、宮古建設組
合の組合員や消防団
員、漁業者らが肩を組
んで前へ踏みだすイラ
が約200人おり、一

千部を同組合などか
ら住民に配ってもら
い、宮古市や宮古商高
にも50部ずつ送った。
同支部は昨年冬は募
金で購入した湯たん
ぽ、今夏は扇風機を仮
設住民用に贈るなど同
地区の支援を続けてき
た。本県出身の組合員

戸町出身の松館寛書記
次長(59)＝足立区＝は
「継続支援をテーマに
している。前を向いて
復興へ歩んでほしい」
と古里岩手を思う。

なかだえりさんも「カレ
ンダーが終わる来年の
今ごろには復興が目
見えて進んでいてほ
い」と願う。

鈴木組合長(65)＝宮
古市宮町＝は「いろい
ろな形での支援が本当
にありがたい」と感謝。
「街並みを元に戻す役
割を今後も果たしてい
きたい」と誓う。